

Practice in Biochemistry

1 unit (compulsory) 2nd-year

Toshinobu Nishida · ASSOCIATE PROFESSOR / FUNCTIONAL LABORATORY SCIENCE, MAJOR IN LABORATORY SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Tatsuya Tominaga · ASSISTANT PROFESSOR / MORPHOLOGICAL LABORATORY SCIENCE, MAJOR IN LABORATORY SCIENCE, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Target > 生化学領域で使用される基本的な方法を、実習で体験し原理や操作を習得する。タンパク質の電気泳動や酵素活性の測定などを通し、生体試料の取り扱い方を習得する。

Outline > 生成成分の分離、分子量推定および酵素反応の解析など、生化学の基礎的な事柄について理解を深める。実習目的を説明し、小グループに分かれて実習する。実習後直ちにレポートを提出させ、理解度を確認しながら、次に進める。

Notice > 実習レポートを定期的に提出すること。不備があれば再提出を求める。

Goal > 生化学領域における基本手技を習得する。生体試料の取り扱い方を習得する。

Schedule >

1. 緩衝液の作製
2. タンパク質の定量 (Biuret 法, Lowry 法)
3. カラムクロマトグラフィーによるタンパク質の分画 (ゲル濾過法, イオン交換法)
4. 電気泳動によるタンパク質の分離および分子量推定 (アガロースゲル, ポリアクリルアミドゲル)
5. 酵素活性の測定

Evaluation Criteria > レポート, 実習に取り組む態度を基に総合的に評価する。

Textbook > 実習テキストを配布する。

Contents > <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217923>

Contact >

⇒ Nishida (+81-88-633-9060, nishida@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水曜日 17:00~)